

# 県内図書館紹介

## 一関市立図書館

### 1. 概要

一関市は岩手県の南の玄関口に位置し、栗駒山や厳美溪など豊かな自然に恵まれた人口6万2千人余りの市で、藩政時代は仙台藩の支藩として栄えた三万石の城下町です。盛岡市と仙台市の中間地点にあり、古くから宮城県北、岩手県南の生活・文化の中心地となっています。

図書館が設置されたのが昭和25年、現在の場所に新築移転したのが昭和47年です。平成6年に電算導入をしています。



### 2. 紹介

現在の蔵書冊数は11万5千冊、特色あるコレクションとして故野村岳陽氏（東洋大学教授）より譲り受けた明治・大正期の郷土関係の蔵書を中心とした野村文庫や、アイオン・カザリン台風による水害の記録写真パネルなどの貴重な資料、そして地元新聞の「岩手日日」のマイクロ資料を所蔵しています。

広い面積を有する当市では移動図書館車「わかき号」が市内の小学校・幼稚園・保育園を含む67箇所を巡回しています。

そのほかにもボランティアと協働のお話し会の開催や、映画会、企画展などを実施し、お年寄りから赤ちゃんまで利用できる施設を目指しています。

また、地域の情報の拠点として両磐地区、宮城県北の方達への貸出やレファレンスサービスも積極的におこなっています。

当面の課題としては老朽化、狭隘化にともない市民の要望が高まっている新しい図書館の早期建設が待たれるところです。

## 沢内村中央公民館図書室

### 1. 概要

沢内村は岩手県の西部に位置し、奥羽山脈の分水嶺を境として、西は秋田県に接している、人口4千人弱の村です。四方を奥羽山脈に囲まれた高原性の盆地で、冬には積雪が2mにも及び、根雪の期間は4ヶ月以上にもなります。村の歴史は豪雪と凶作とのたたかひでしたが、その中で培われたたくましい村民性は激動する社会にあって、「保健医療の村」「治雪・活雪・親雪の村」を造り上げ、今もなお快適な雪国の生活環境を創造しようと力強く前進し続ける原動力となっています。

### 2. 紹介

沢内村では、昨年の8月から新しい取り組みを始めました。村内にある3つの郵便局に図書を置かせていただき、村民のみなさんに利用していただくというものです。村の中央公民館図書室まで来て図書を借りることができなかった方々にも、気軽に本を借りていただけるようになり、とても好評で、嬉しく思っているところです。

村では、これまでも村の中央公民館図書室を中心に、村内3つの公民館に図書を置き、村民のみなさんに利用していただいていたまいりました。加えて、

1ヶ月に1回、移動図書館車「みのり号」の巡回も実施しており、約千冊の図書を載せ、村内の小学校・保育所・特別養護老人ホーム等の施設や個人（合わせて25ステーション）をまわっています。老若男女の本好きな方々との停車中のおしゃべりも、とても楽しい交流のひとつです。

村民のみなさんに一層読書に親しんでいただけるような環境づくり、図書・情報提供サービスの充実に今後とも努めてまいりたいと考えています。

